

## デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業～Xプログラム～ 選定一覧

選定件数：6件【国立大学4件、私立大学2件】

NO	区分	大学名	事業名
1	国立	滋賀大学	データサイエンス×経済・教育（DS×E2）高度専門人材養成プログラム
2	国立	岡山大学	教育学×データサイエンスで人間・社会・文化の未来を拓く先駆者養成クロスプログラム
3	国立	広島大学	人文社会科学分野におけるDX推進エキスパート人材育成のための大学院新学位プログラム～教育データサイエンスプログラムとソーシャルデータサイエンスプログラムの設置～
4	国立	九州大学	ウェル・ビーイングの実現に貢献する高度人文情報人材養成プログラム：人文学×データサイエンスによる「人文情報学」大学院の設置
5	私立	東北学院大学	東北の地域経済発展を担うデータサイエンス人材育成事業
6	私立	名古屋商科大学	DX時代のリーダー育成を担う「MBA x データサイエンス」ダブル・ディグリー教育課程

代 表 校 名	滋賀大学
事 業 名	データサイエンス×経済・教育（DS×E2）高度専門人材養成プログラム
事 業 の 概 要	
<p>本学が推進してきた先進的データサイエンス人材養成の経験を基礎に、修士課程において全学的な文理融合型プログラムを構築する。経済×データサイエンスでは、経済学研究科に「経営分析学専攻」を新設し、日本初の学位「修士(経営分析学)」を授与する。情報分析に基づく意思決定ができる人材の不足に応え、経営・市場データを統計的手法で分析し、経営パフォーマンス改善や事業イノベーションの推進を担いうる人材を養成する。教育×データサイエンスでは、GIGAスクール構想の加速化に伴い不足する人材を供給するため、教育学研究科（教職大学院）で教育データサイエンス実践学のエキスパートを養成する。所定の単位の修得者には、滋賀県教育委員会と連携して専修免許状に「教育データサイエンス実践学」を付記する。これらのプログラムに社会人を積極的に受け入れ、将来的には、博士課程も含め、人材が社会と大学間を往還し学び続ける仕組みを目指す。</p>	

代 表 校 名	岡山大学
事 業 名	教育学×データサイエンスで人間・社会・文化の未来を拓く先駆者養成クロスプログラム
事 業 の 概 要	
<p>教育学を専門領域とするデータサイエンス（DS）のエキスパート人材へのニーズに応え、本事業では、「教育学の専門知と ICT・DS 力を融合したトランスファラブルな力を身に付け、これを俯瞰的に活用できるデータ駆動型社会を牽引できる先駆者」を養成する「教育学・データサイエンス学位プログラム」を教育学研究科に設置する。その特色は、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 個別指導によるオンデマンドのハンズオン演習での、ICT・DS の基礎スキル、</li> <li>② 人間中心の AI 社会原則の下、教育ハッカソンやアジャイル開発経験での、新たな価値を創出するデザイン思考力、</li> <li>③ 教育領域の人間・社会・文化に係る幅広い実データを用いて多様なデータ解析法の適不適を判断する能力、</li> <li>④ 企業や教育現場等との協業によるプロジェクトマネジメント体験で DS を俯瞰的に活用できる能力、</li> </ol> <p>を主体的に学修するカリキュラムにあり、データサイエンスのエキスパート人材として即戦力となる先駆者を輩出する。</p>	

代 表 校 名	広島大学
事 業 名	人文社会科学分野におけるDX推進エキスパート人材育成のための大学院新学位プログラム ～教育データサイエンスプログラムとソーシャルデータサイエンスプログラムの設置～
事 業 の 概 要	
<p>人文社会科学分野の内、特に教育学や経済学・経営学の分野の専門性と数理・データサイエンス・AIの素養を併せ持つ人材を育成するため、教育データサイエンスプログラム、ソーシャルデータサイエンスプログラムの2つの学位プログラムを大学院人間社会科学研究科博士課程前期及び博士課程後期に設置する。AI・データイノベーション教育研究センターや大学院先進理工系科学研究科等と連携し、各プログラムでの研究指導は、人文社会科学分野の教員と数理・データサイエンス・AI分野の教員が協働して行う。また、分野の異なる学生がデータ解析等の実践的作業を通じて一緒に課題解決を体験する科目を開設する。これらの取組により、他分野の専門家と協働して、産業界、学校現場、行政等におけるDXを強かに推進するエキスパート人材を輩出し、「総合知」によるSociety5.0の実現の一端を担うべき人文社会科学分野の人材不足という課題の解決を目指す。</p>	

代 表 校 名	九州大学
事 業 名	ウェル・ビーイングの実現に貢献する高度人文情報人材養成プログラム：人文学×データサイエンスによる「人文情報学」大学院の設置
事 業 の 概 要	
<p>本事業の目的は、「人文学的視点」とデータ分析・人工知能等の情報学を活用できる知見の双方を備えた分野横断的な高度専門人材を育成し、人間社会のためのデータ活用の推進、すなわち「ウェル・ビーイング社会」の実現に貢献することである。</p> <p>そのために、本学の関係組織（テキストや画像を分析対象とした実証的な分析を強みとする「人文科学府」、情報・データの保存・管理に関する専門的な研究を深める「統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻」、及び、人社系を含む広い研究教育分野に対しデータサイエンスの原理の学修と諸技術の活用を促進する「数理・データサイエンス教育研究センター」）の協働により、研究科等関係課程の枠組みを活用した「人文情報学」の設置し、人文学とデータサイエンスのダブルメジャーとしての「人文情報学」を修得できるようにすることを目指す。</p>	

代 表 校 名	東北学院大学
事 業 名	東北の地域経済発展を担うデータサイエンス人材育成事業
事 業 の 概 要	
<p>本事業では、(1) データサイエンスの知識とスキルを持つ高度人材育成のための教育プログラム開発、(2) 地元経済界を支える企業・自治体が参加する教育実施体制の構築、(3) 地域経済界をテーマとする実践的な演習の実施、(4) 地域経済界から入学者を直接募集する枠組みの構築、の四つの観点を持つ大学院改革を実施し、地域が必要とする高度人材の育成を地域と協働で実施する。本事業による大学院改革により、地域が必要とする「地域経済などのデータに基づいて正しい価値判断ができる高度人材」の育成が実現できる。また、新しい形式の就職活動イベントや就職後のサポート体制の構築、地域の課題のフィードバックにより、地域から直接募った人材を、高度人材として成長した形で地域経済の現場に直接お返しする動的なサイクルを構築する。このサイクルは、従来、地域経済界が抱える「人材定着の難しさ」という課題解決にも資するものである。</p>	

代 表 校 名 ( 連 携 大 校 名 )	名古屋商科大学
事 業 名	DX 時代のリーダー育成を担う「MBA x データサイエンス」ダブル・ディグリー教育課程
事 業 の 概 要	
<p>我が国では、国際社会の潮流を踏まえ、国内外におけるアカデミック・ノンアカデミックでの活躍を意識した学位課程が不足している。自然科学分野に加え、人文社会系分野においてもデータサイエンス・コンピュータサイエンスの素養への需要の増加により「専門分野×データサイエンス・コンピュータサイエンス」を修めた修士・博士の輩出が Society 5.0 や DX の実現のために喫緊の課題である。この課題に応えるため、名古屋商科大学では大学院修士課程において、データサイエンスの修士課程を有する海外の提携校との連携によるダブルディグリー制度により、本学修了時に、本学から授与される経営学の修士号（MBA または MSc in Management）と、提携校から授与されるデータサイエンスの分野の修士号(MSc) を同時に取得することができる仕組みを構築し、リーダー育成教育を実施するための事業に取り組む。</p>	